

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 10 月 6 日

水戸地方裁判所土浦支部

裁判所書記官 益 子 成 人

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 10 月 31 日から 令和 7 年 11 月 7 日まで
開札期日	日 時 令和 7 年 11 月 14 日 午前 10 時 00 分 場 所 水戸地方裁判所土浦支部
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 12 月 5 日 午前 10 時 00 分 場 所 水戸地方裁判所土浦支部
特別売却 実施期間	令和 7 年 11 月 17 日から 令和 7 年 11 月 18 日まで
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。 ただし、特別売却は金銭又は執行裁判所が相当と認める有価証券
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 33 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを令和 7 年 10 月 6 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。なお、入札期間及び特別売却実施期間の最終日は午後 5 時までです。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和 6 年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1,2	9,640,000 7,712,000	一括	1,928,000	99,875	0
1	1,900,000				
2	7,740,000				

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | かすみがうら市稲吉東三丁目 |
| | 地 番 | 2 4 5 3 番 8 4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 6 5 . 2 9 平方メートル |
| 2 | 所 在 | かすみがうら市稲吉東三丁目 2 4 5 3 番地 8 4 |
| | 家屋 番号 | 2 4 5 3 番 8 4 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造ルーフィングぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 5 5 . 4 8 平方メートル
2 階 4 9 . 6 8 平方メートル |

物 件 明 細 書

令和 7年 6月27日

水戸地方裁判所土浦支部

裁判所書記官 益 子 成 人

1 不動産の表示

【物件番号1, 2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号1, 2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号2】

Cが占有している。同人の占有権原は使用借権と認められる。

5 その他買受への参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありませんし、記載されている事実や判断も要点のみを簡潔に記載されていますので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」も御覧ください。
- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」を御覧ください。

- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では別ファイルとして備え付けられています。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | かすみがうら市稲吉東三丁目 |
| | 地 番 | 2 4 5 3 番 8 4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 6 5 . 2 9 平方メートル |
| 2 | 所 在 | かすみがうら市稲吉東三丁目 2 4 5 3 番地 8 4 |
| | 家屋 番号 | 2 4 5 3 番 8 4 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造ルーフィングぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 5 5 . 4 8 平方メートル
2 階 4 9 . 6 8 平方メートル |

令和 6 年（ケ）第 86 号
令和 6 年 11 月 29 日受理
令和 7 年 1 月 27 日提出
（評価人 和野雅）

現況調査報告書

水戸地方裁判所土浦支部
執行官 粉川 宗 尚

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | かすみがうら市稲吉東三丁目 |
| | 地 番 | 2 4 5 3 番 8 4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 6 5 . 2 9 平方メートル |
| 2 | 所 在 | かすみがうら市稲吉東三丁目 2 4 5 3 番地 8 4 |
| | 家屋 番号 | 2 4 5 3 番 8 4 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造ルーフィングぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 5 5 . 4 8 平方メートル
2 階 4 9 . 6 8 平方メートル |

不動産の表示	「物件目録」のとおり		
住居表示	☒ (住居表示未実施) ☐		
土地	物件1		
現況地目	☒ 宅地 (物件) ☐ 公衆用道路 (物件) ☐ (物件)		
形状	☐ 公図のとおり ☐ 地積測量図のとおり ☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり ☐		
占有者及び占有状況	☒ 土地所有者 ☐ その他の者 上記の者が本件土地上に下記建物を所有し、占有している。 ☐ 物件 の土地は公衆用道路として使用されている。 ☐ 「占有者及び占有権原」のとおり		
下記以外の建物 (目的外建物)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外建物の概況」のとおり)		
その他の事項			
建物	物件2		
種類、構造及び床面積の概略	☒ 公簿上の記載とほぼ同一である。 ☐ 公簿上の記載と次の点が異なる (☐ 主たる建物 ☐ 附属建物)。 ☐ 種類： ☐ 構造： ☐ 床面積：		
物件目録にない附属建物	☒ ない ☐ ある { 種類： 構造： 床面積：		
占有者及び占有状況	☐ 建物所有者 ☒ その他の者 上記の者が本建物を 居宅 として使用している。 ☒ 「占有者及び占有権原」のとおり		
上記以外の敷地 (目的外土地)	☒ ない ☐ ある (詳細は「目的外土地の概況」のとおり)		
その他の事項	室内で犬を飼っており、クロスの損傷や動物臭が認められる。		
執行官保管の仮処分	☒ ない { 地方裁判所 支部 令和 年 () 第 号 ☐ ある { 保管開始日 令和 年 月 日		
土地建物の位置関係	☐ 建物図面 (各階平面図) のとおり ☒ 土地建物位置関係図のとおり		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(2 枚目)

占有者及び占有権原 (物件 2 関係)		
占有範囲	☒ 全部 ☐	
占有者	☐ 債務者 ☒ C	
占有状況	☐ 敷地 ☐ 駐車場 ☐ ☒ 居宅 ☐ 事務所 ☐ 店舗 ☐ 倉庫	
関係人の陳述及び提示文書の要旨	☒ 陳述(C) ☒ 文書(B作成の回答書)	
占有権原	☐ 賃借 ☒ 使用借 ☐ 転借 ☐	
占有開始時期	令和6年6月 日頃	
最初の契約等	契約日	令和 年 月 日
	期間	令和 年 月 日から
		☐ 令和 年 月 日まで 年間 ☒ 期間の定めなし
更新の種別	☐ 合意更新 ☐ 自動更新 ☐ 法定更新	
現在の契約等	期間	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで 年間 ☐ 期間の定めなし
契約等当事者	貸主	☒ 所有者 ☐ その他()
	借主	☒ 占有者 ☐ その他()
賃料・支払時期	毎 金 円 (毎 限り 分払) ☐ 前払 (分 円) ☐ 相殺 (分 円)	
敷金・保証金	☒ ない ☐ ある (☐ 敷金: 金 円, ☐ 保証金: 金 円)	
特約等	☐ 譲渡転貸可 ☐	
その他	☐ 消費税 ☐ 込み ☐ 別 ☐ 別途光熱費月額 円の負担あり	
執行官の意見	☒ 上記のとおり ☒ 下記のとおり ☐ 「執行官の意見」のとおり	
本件所有者Aの知人であるCが占有している。同人はAに対して債権を有する旨主張しているが、本物件の利用の対価を充当するわけではなく無償で占有しており、AC間の人的関係や利用の対価の授受がないことを併せ考え、Cの占有権原を使用借権と認定した。		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(3 枚目)

関係人の陳述等	
陳述者 (当事者等との関係)	陳述内容等
B (本件所有者A親族)	1 本物件に(は), (1) 本件所有者Aの行方がわからなくなっており, Aの債権者が利用(占有)しています。 (2) 新築(又は購入)以降の増改築はありません。 (3) 第三者の建物や工作物などはありません。 (4) 境界争い等隣地との紛争はありません。 (5) 特段の故障不具合はありません。不自然死などの事件事故や産廃の投棄・埋設はありません。 【回答書要旨】
C (占有者)	1 私は, 本件所有者Aの知人で, 現在は自動車の売買などをしていいますが, 以前は運送業などの仕事でAと一緒に働いていたこともあり, なにかと面倒をみてきました。 2 私はAに対し, 350万円ほどの貸金債権があるため, その返済がなされるまでの間, 本物件を利用させてもらっています。 3 私が本物件を利用したのは1年半ほど前のことです。 4 私が本物件を利用する期間やAに支払うべき使用の対価の額といった取り決めは全くしていません。 したがって, 本物件の利用の対価を前記貸金債権に充当するようなこともありません。 5 私の本来の自宅は千葉にあり, 借用書などはそこに保管していることから, 本日この場でお示しすることができません。 6 本件建物内で犬を飼っているので, それによる影響(損傷や臭い)はあります。 7 Aが姿を消してしまった上に行く当てもないというので不憫に思い, Aの家族らを従前どおり本物件に期限を定めず無償で住まわせています。 しかし, 全員1階でのみ生活するようにしており, 2階は利用させないようにしています。

(注) チェック項目中の調査結果は, 「■」の箇所の記載のとおり
(4枚目)

	8 気になる不具合としては、飼い犬が付けた傷や汚れのほかに、Aの子供がうっかり開けてしまったボードの穴が挙げられますが、新しい建物なので構造耐力上主要な部分の不具合や雨漏りといった不都合はありませんし、給排水などの生活関連設備も十全に機能しています。 9 本日駐車場に停まっている2台の軽自動車は私の商品です。仕入れた自動車を転売するに当たり、簡単な整備であれば本物件において行い、そのままこうして保管しています。 【現地聴取要旨】
--	--

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(5 枚目)

執行官の意見

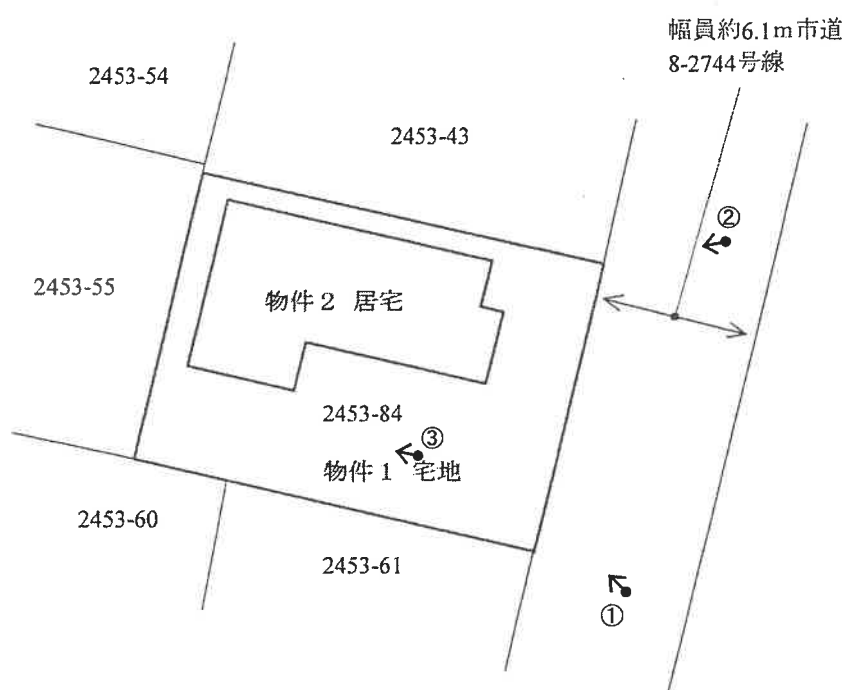
- 1 本件各物件の状況は、土地建物位置関係図、建物間取図及び添付した写真のとおりである。
- 2 本件土地・建物の占有状況については、B及びCの陳述及び上記現場の状況等を考慮して、二、三枚目記載のとおり認定した。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり
(6 枚目)

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和6年11月29日(金)	当 庁	役場(所)照会(照会書郵送)
令和6年12月13日(金)	当 庁	所有者照会(照会書郵送)
令和7年1月20日(月) 10:20-11:30	物件所在地	立入調査 占有調査 図面作成・写真撮影 ☐ 債務者・ ☐ 所有者・ ☒ C から聴取 評価人同行
年 月 日() : - :		
年 月 日() : - :		
年 月 日() : - :		
年 月 日() : - :		
(特記事項) ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていることも予想されたので、立会人及び解錠技術者を同行して臨場した。 ☐ 令和 年 月 日 目的物件は不在で施錠されていたので、立会人 を立ち合わせ、技術者に解錠させて建物内に立ち入った。 ☐ 令和 年 月 日 休日・夜間執行許可の提示をした。		

(注) チェック項目中の調査結果は、「☒」の箇所の記載のとおり
(7 枚目)

土地建物位置関係図



《凡例》
 撮影方向： ←
 写真番号： ①

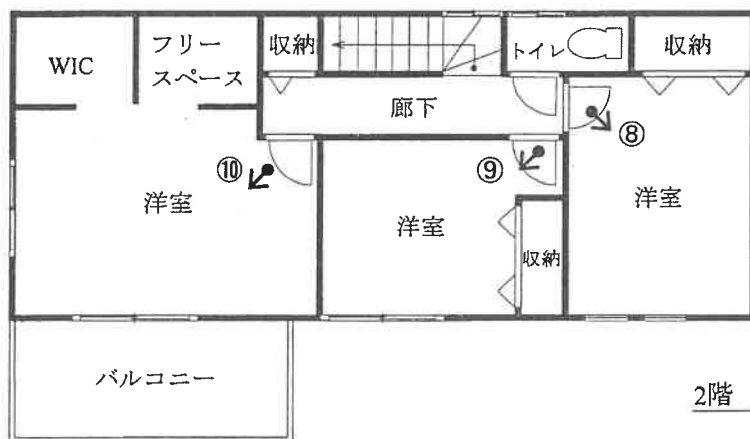
※この図面は現地調査等により作成した概略図であり、境界を確定した実測図ではありません。

間取図

物件2 居宅



1階 床面積 55.48㎡



2階 床面積 49.68㎡

《凡例》
撮影方向: ←
写真番号: ①

※図面と現況が異なる場合は現況優先となります。

写真1



写真2



写真3



写真4

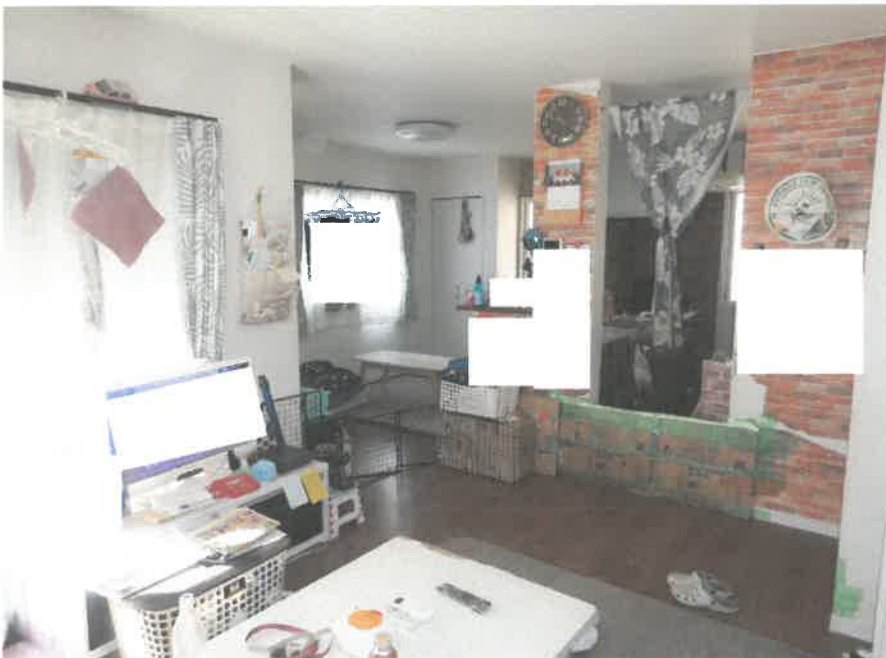


写真5



写真6



写真7



写真8



写真9



写真10



令和 6年（ケ）第 86号
令和 6年11月29日 受 命
令和 7年 1月20日 現地調査
令和 7年 1月24日 評 価
令和 7年 1月27日 提 出

水戸地方裁判所 土浦支部 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
和野 雅

第1 評価額

一 括 価 格	
金 9, 6 4 0, 0 0 0 円	
内 訳 価 格	
物件1 (土地)	金 1, 9 0 0, 0 0 0 円
物件2 (建物)	金 7, 7 4 0, 0 0 0 円

- 1 一括価格は、物件1・2の各不動産について、一括売却（民事執行法61条本文）を行うことを前提とした場合の合計価格である。
- 2 内訳価格は、配当の割付と超過売却（民事執行法73条）の判定を行うことの参考として、一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件1の土地価格は物件2の建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件2の価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法58条4項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

現況欄に記載のない事項については、ほぼ登記記載と同じ

番号	所在等	登 記	現 況
1	所在地 地番 地目 地積	別紙物件目録記載のとおり	
2	所在地 家屋番号 種類 構造 床面積	別紙物件目録記載のとおり	

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	JR常磐線「神立」駅の北東方約1.5km（道路距離） 関東鉄道「下稻吉局前」バス停の東方約750m（道路距離）	
付 近 の 状 況	一般住宅が建ち並ぶ住宅地域	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 （道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制）	都市計画区分 用 途 地 域 建 蔽 率 容 積 率	市街化区域 第1種住居地域 指定 60% 指定 200%
画 地 条 件	地積 165.29m ² 形状 : 長方形 地勢 : 概ね平坦 高低差: 接面道路と概ね等高 接面道路との関係: 中間画地 間口奥行: 概ね別添「土地建物位置関係図」の通り	
接面道路の状況	東側約6.1m舗装市道 (建築基準法第42条1項1号道路に該当)	
土地の利用状況等	物件2建物の敷地として利用されている。 (物件2建物の法定地上権の成立を考慮して評価する。) ※建物の配置等は概ね別紙「土地建物位置関係図」の通り。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道 : あり ガス配管 : なし 下 水 道 : あり (注) 供給処理施設における「あり」とは、目的物件の前面道路に該当施設の本管（以下、施設管という）が通っており、通常のコストで敷地内への引込が出来る状態にあることをいう。「なし」とは、目的物件を含めた周辺に施設管が配置されておらず、敷地内に引込むことが不可能な場合をいう。「不明」とは、前面道路に施設管は敷設されていないにもかかわらず供給処理施設を利用している場合や、役所等での確認事項に疑義がある場合等で、将来的に当該施設が利用できるかどうか不明な場合をいう。 ※実際の接続・利用の可否、それに伴う各種費用負担・手続き等に関しては関係各所においての詳細調査を要することにご留意下さい。	
特 記 事 項	目視による現地調査の範囲においては、土壌汚染の存在等については特に確認できなかった。但し、評価人としての調査には限界がある為、詳細については別途専門家による調査を要する。実際に存した場合（産業廃棄物等を含む）における負担額等の全てを担保できるか否かは不明であるのでご留意下さい。	

2 建物の概況及び利用状況（物件2）

区 分	主である建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載) 平成29年 4月27日新築 経過年数 約8年 経済的残存耐用年数 約12年
仕 様	構 造 木造 屋 根 ルーフィングぶき 外 壁 サイディング張 内 壁 クロス貼 等 天 井 クロス貼 等 床 合板フローリング、畳 等 設 備 給排水衛生工事、電気工事 等 (※1) 仕様は目視確認の範囲によるもので推定を含む。 (※2) 競売手続きにおいては、建物に附属する各種付帯設備等の動作確認が出来ないため、正常に作動するか否かは不明である。
床面積（現況）	第3項目的物件欄記載のとおり
現 況 用 途 等	階層 地上2階建 現況用途 居宅 間取り 建物間取図参照
品 等	普通
保守管理の状態	やや劣る
建物の利用状況	本件建物所有者の知人であるCが居宅として利用している（使用借権）。
特 記 事 項	①建築確認等の概要（県南県民センター建築指導課に聴取） ・建築確認：平成28年12月15日、第16UDI1W建09011号 ・検査済証：平成29年5月1日、第16UDI1W建09011号 ②室内で犬を飼っている。 ③内壁クロスの損傷が一部で確認された。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

① 建付地価格（物件1）

更地価格を算出し、これに建付減価を行って建付地価格を求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格差 イ	地積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建付地価格 (円) ア×イ×ウ×エ
1	31,500	1.00	165.29	0.95	4,950,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 かすみがうら-5

公示価格 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格
 $32,000\text{円}/\text{㎡} \times 101.4/100 \times 100/103.0 \times 100/100.0 = 31,500\text{円}/\text{㎡}$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：方位+3

◇地域格差：必要なし。

イ 個別格差：必要なし

ウ 地積：登記記載の地積。

エ 建付減価：建物と敷地との適応の状態等を考慮した。

② 建物価格（物件2）

当該建物の再調達原価を、現在の建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法並びに観察減価法を併用した減価修正を行って、建物価格を判定した。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床 面積(㎡) イ	現価率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
2	150,000	105.16	0.56	8,830,000

ア 再調達原価：対象建物の現状の使用資材、施工の程度等を観察し、その仕様の標準的な原価を採用した。

イ 現況延床面積：105.16㎡

ウ 現 価 率

経過年数8年、経済的全耐用年数20年、経済的残存耐用年数12年、
 観察減価及び中古建物の市場性減価10%、残価率5%、耐用年数に基づく方法と観察減価法を併用し、現価率を査定した。

・ 現価率＝{残価率5%＋(1－5%)×(経済的残存耐用年数12年／経済的全耐用年数20年)}×(1－観察減価10%)≒0.56

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格 (円) ア	土地利用権等割合 イ		土地利用権等価格 (円) ア×イ
1	4,950,000	0.45	法定地上権	2,230,000

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) イ	占有 減価 修正 ウ	市場 性修 正 エ	競売 市場 修正 オ	評価額 (円) (ア±イ)×ウ×エ×オ
1	4,950,000	-2,230,000		1.00	0.70	1,900,000
2	8,830,000	+2,230,000	1.00	1.00	0.70	7,740,000
一括価格（合計）						9,640,000

ウ 占有減価修正：必要なし

エ 市場性修正：必要なし

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

1 地価公示価格 かすみがうら-5

所 在： かすみがうら市稲吉東2丁目2465番32
「かすみがうら市稲吉東2-18-8」

地 目： 宅 地

価 格： 32,000円／㎡

位 置： JR常磐線「神立」駅の北東方約1.4km（道路距離）

価 格 時 点： 令和 6年 1月 1日

地 積： 167㎡

供給処理施設： 水道, 下水道

接 面 街 路： 南側6m私道

用途指定等： 市街化区域 第1種住居地域（建蔽率60%、容積率200%）

地域の概要： 中規模一般住宅が整然と建ち並ぶ住宅地域

第7 附属資料

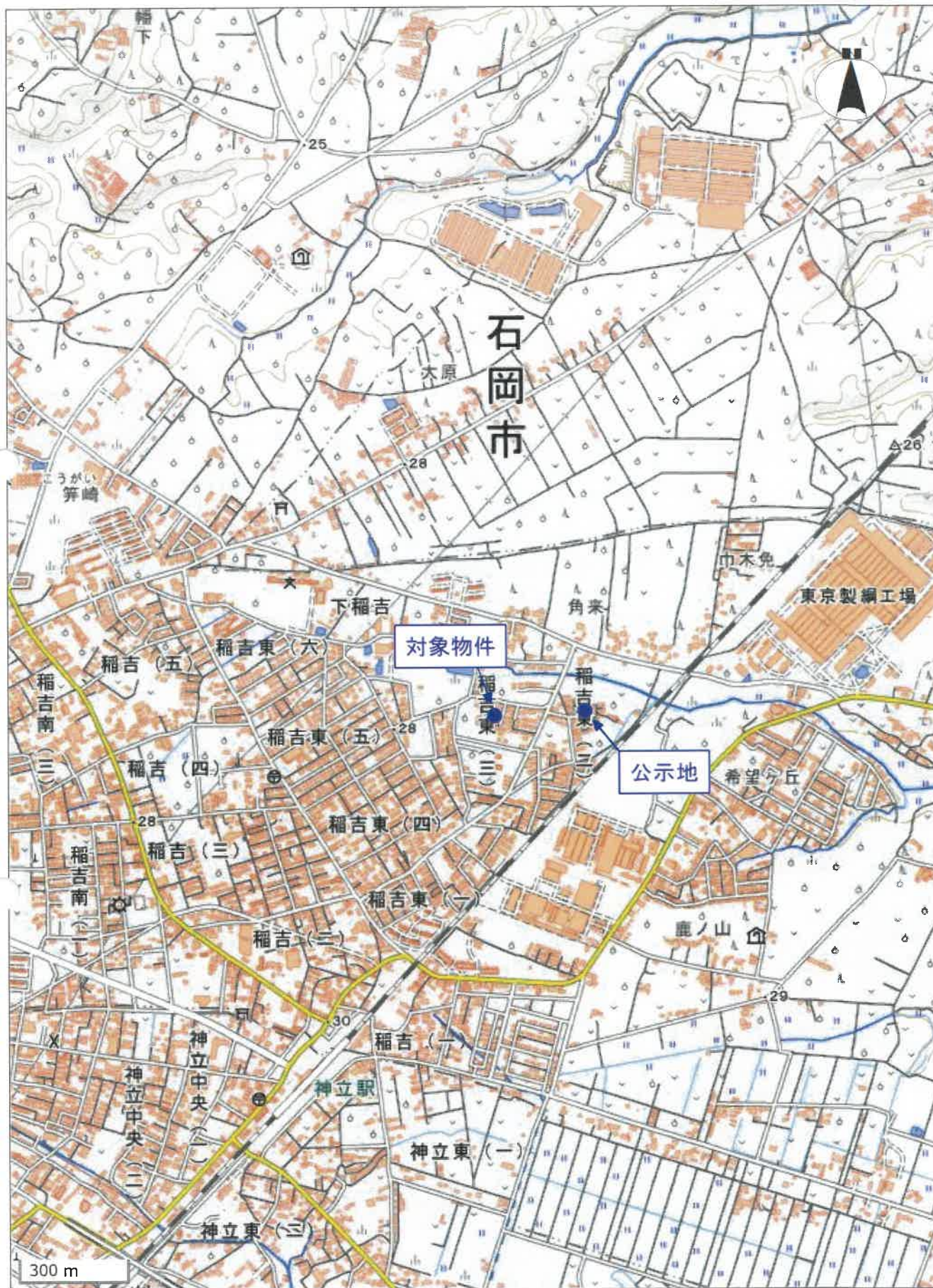
- ・ 物件目録
- ・ 物件位置図
- ・ 周辺見取図
- ・ 地図（法第14条第1項）写
- ・ 地積測量図写
- ・ 建物図面・各階平面図写
- ・ 土地建物位置関係図
- ・ 間取図

以 上

物 件 目 録

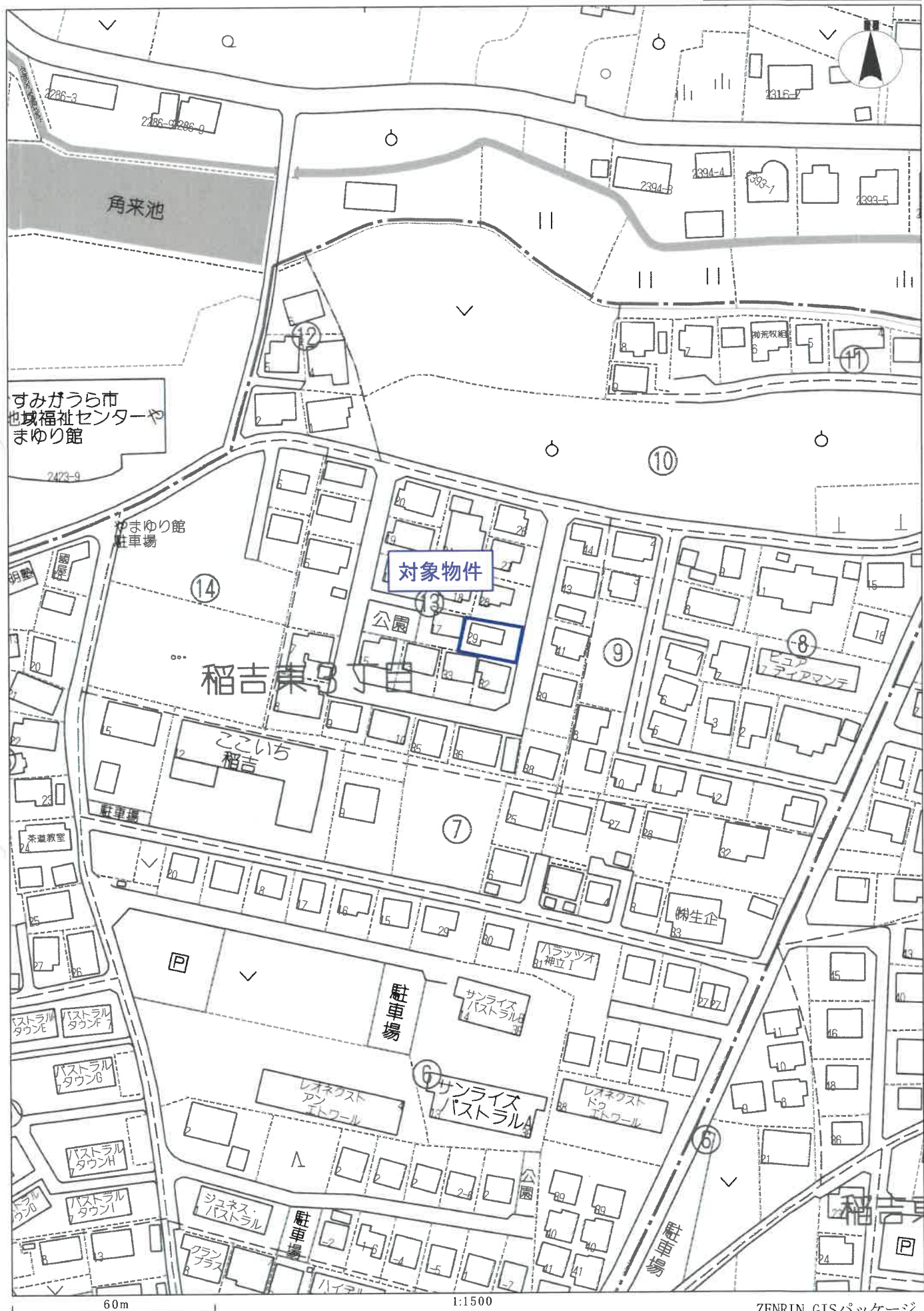
- | | | |
|---|-------|--|
| 1 | 所 在 | かすみがうら市稲吉東三丁目 |
| | 地 番 | 2 4 5 3 番 8 4 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 1 6 5 . 2 9 平方メートル |
| 2 | 所 在 | かすみがうら市稲吉東三丁目 2 4 5 3 番地 8 4 |
| | 家屋 番号 | 2 4 5 3 番 8 4 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造ルーフィングぶき 2 階建 |
| | 床 面 積 | 1 階 5 5 . 4 8 平方メートル
2 階 4 9 . 6 8 平方メートル |

物件位置図

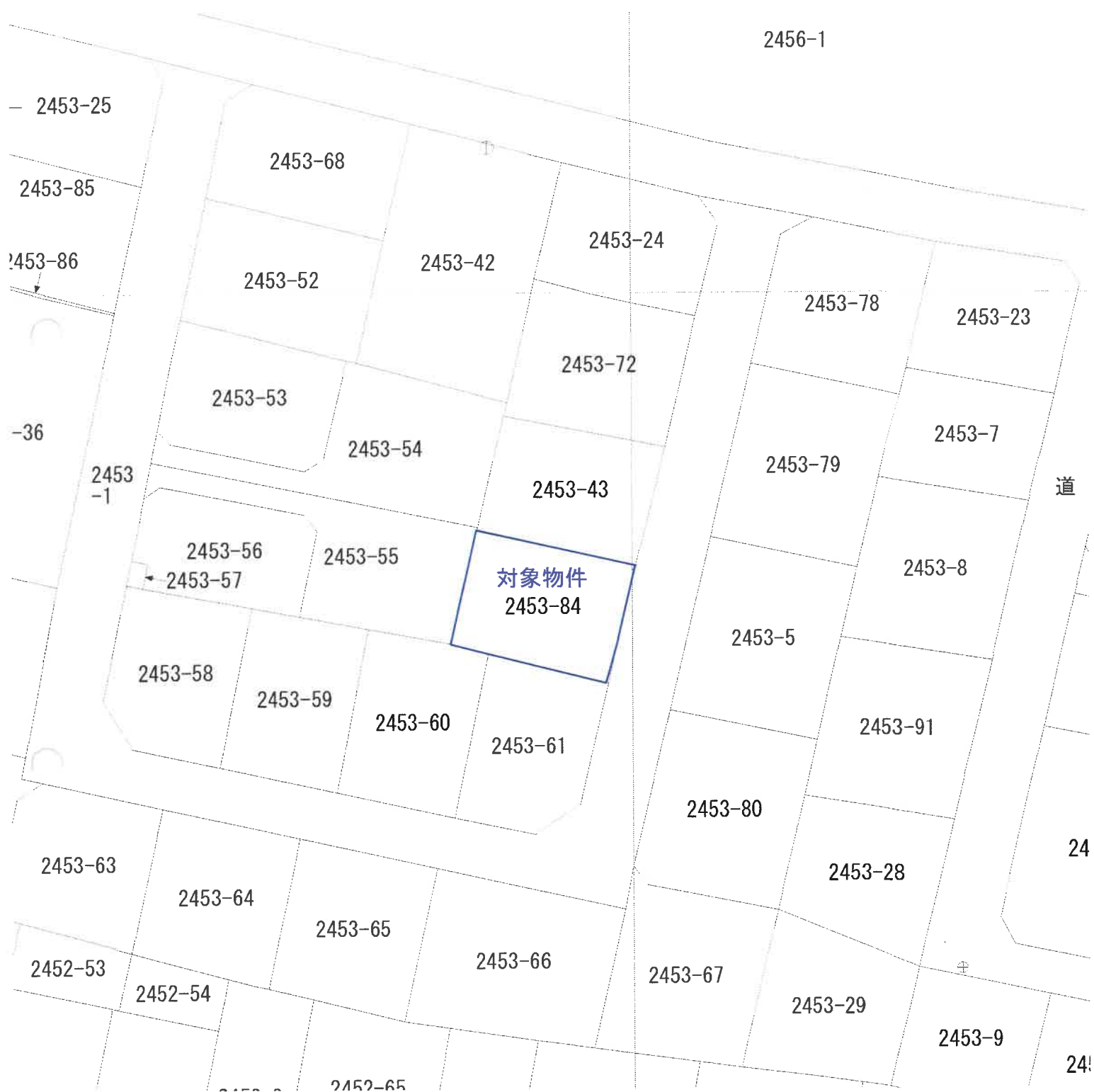
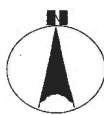


地理院地図（電子国土web）

周辺見取図



地図(法第14条第1項)写

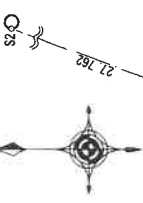


縮尺 500分の1

地積測量図写

地積測量図

地番	(A)2453-43. (B)2453-84
土地の所在	かすみがうら市稲吉東三丁目



恒久的地物の種類及び座標値

点名	X座標	Y座標	備考
S1	1001.590	997.726	マンホール利み
S2	1033.968	1006.132	マンホール利み

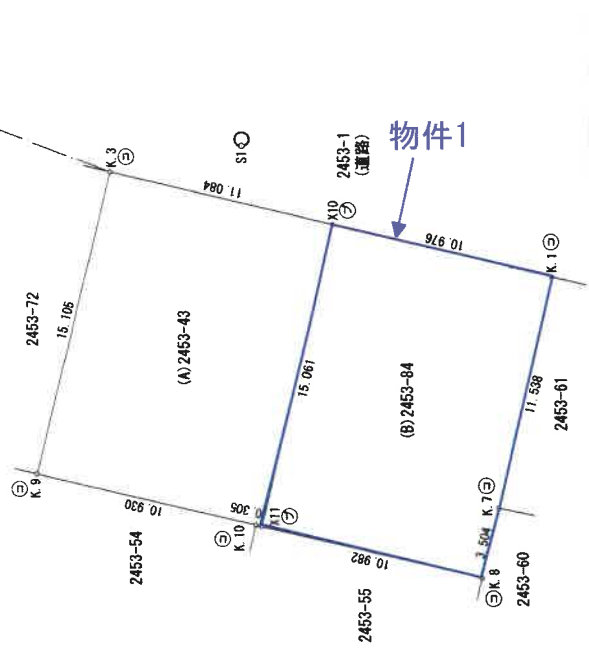
求積表

地番 (A)2453-43				
測点名	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)
X10	997.158	993.911	17.202	17153.111916
K.3	1007.947	998.463	-12.126	-12222.365322
K.9	1011.558	981.785	-17.132	-17350.011656
K.10	1000.909	979.321	-2.534	-2536.303406
X11	1000.612	979.251	14.590	14598.929080
合計				-336.639388
合計面積				168.319694
地積				168.31
坪数				50.91
坪				坪

地番 (B)2453-84				
測点名	Xn	Yn	Yn+1-Yn-1	Xn · (Yn+1-Yn-1)
K.7	989.112	980.161	14.644	14484.556128
K.1	986.474	991.394	13.750	13564.017500
X10	997.158	993.911	-12.143	-12108.489594
X11	1000.612	979.251	-17.161	-17171.502532
K.8	989.918	976.750	0.910	900.825380
合計				-330.593118
合計面積				165.296559
地積				165.29
坪数				50.00
坪				坪

総合計面積 333.616253 m²

測量年月日	平成28年11月22日
座標系	区系(任意座標)



境界点	境界線の種類
⑤	石
⑥	金属
⑦	コンクリート杭
⑧	プラスチック杭
⑨	金属板
⑩	ベント
⑪	計算点

作成者	申請人	縮尺 1/250
-----	-----	----------

登記年月日：平成29年5月19日

各階平面図

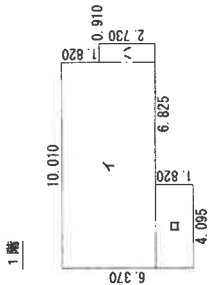
家屋番号

2453-84

建物の所在

かすみがうら市稲吉東三丁目2453番地84

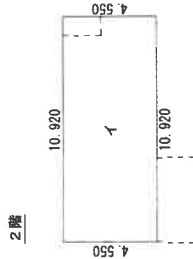
建物図面
各階平面図



求積表

イ	10.010	×	4.550	=	45.545500
ロ	4.095	×	1.820	=	7.452900
ハ	0.910	×	2.730	=	2.484300
合計					55.482700

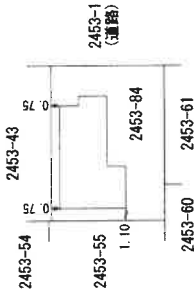
床面積 55.48 m²



求積表

イ	10.920	×	4.550	=	49.686000
---	--------	---	-------	---	-----------

床面積 49.68 m²



物件2

作成者

縮尺 1/250

申請人

縮尺 1/500

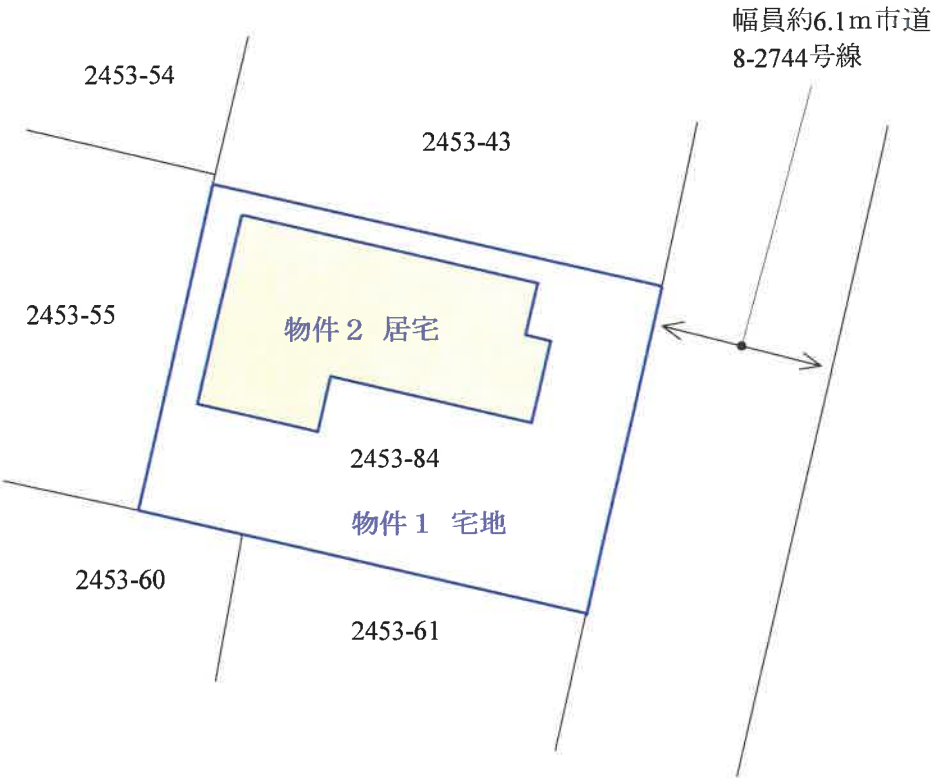
A3をA4に縮小

(茨城土地家屋調査士会 用紙)

建物図面・各階平面図写

土地建物位置関係図

縮尺 1 : 250



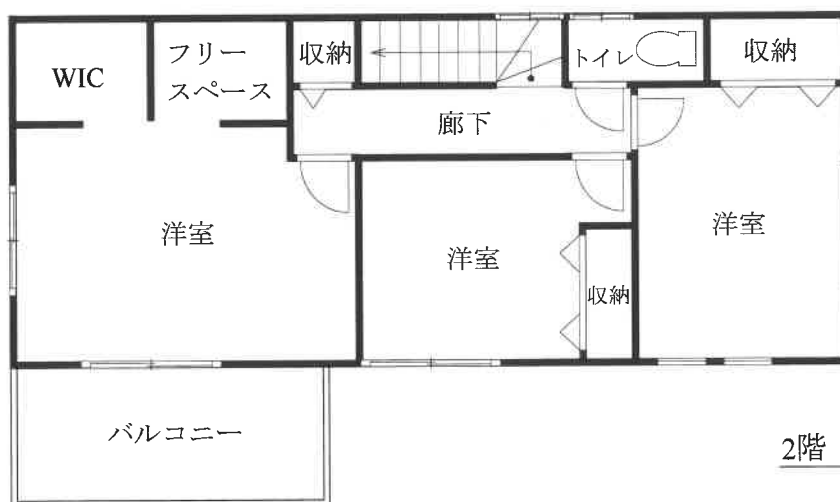
※この図面は現地調査等により作成した概略図であり、境界を確定した実測図ではありません。

間 取 図

物件2 居宅



1階 床面積 55.48㎡



2階 床面積 49.68㎡

※図面と現況が異なる場合は現況優先となります。